

息が詰まるほど
うつくしい恋人は
瞳の先に
亡霊を見る



#01

いつもと
違うにおいが
する……

ヘリオトロープが
花をつけたんだ

香水にも使う
花だから
その匂いだな

剪定ついでに
移してみたんだ

可愛らしい
ですね

ああ、紫色が
きれいだろう

ヘリオト
ロープ…？

00:32
21/07/29 Wed 24C/11%

いえ
花もですが

宜野座さんが

……

それにしても
珍しいですね

寝室に花
それも
切り花なんて

ああ……



この花は本来
日の当たる
場所で咲くんだ

ここは
日光どころか
窓すらない

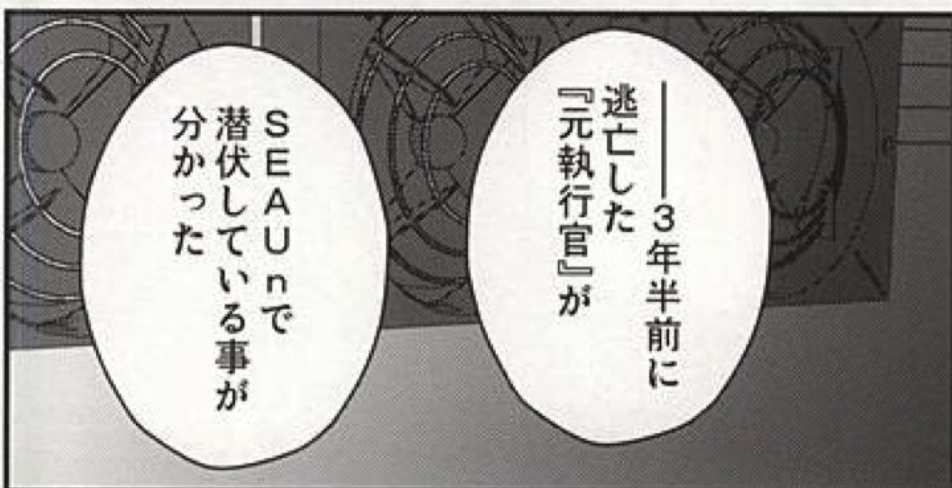
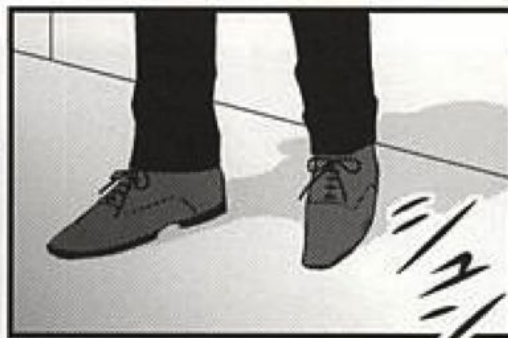
それでも
花をつけてくれた
それが嬉しくてな

……本当は
青空のもと
鮮やかな紫の花を
咲かせたかった

……
だが俺は……

どこにも
行けない
から

ヘリオトロープの花言葉





俺は
何も知らない
知らされでは
いない
何も
ただ

断片的に耳にする話

過去の捜査資料と
報告書で浮かび上がる

『狡こつ慎しん也』という男

そいつ



宜野座さんとの歪こじな関係



生きている

あの男が
海外にいる

ぐっ…

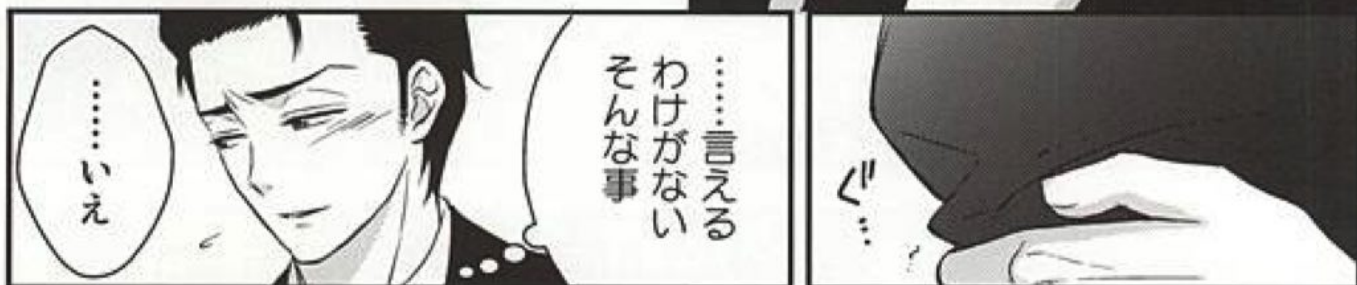
…宜野座さんは
どうするの
ですか



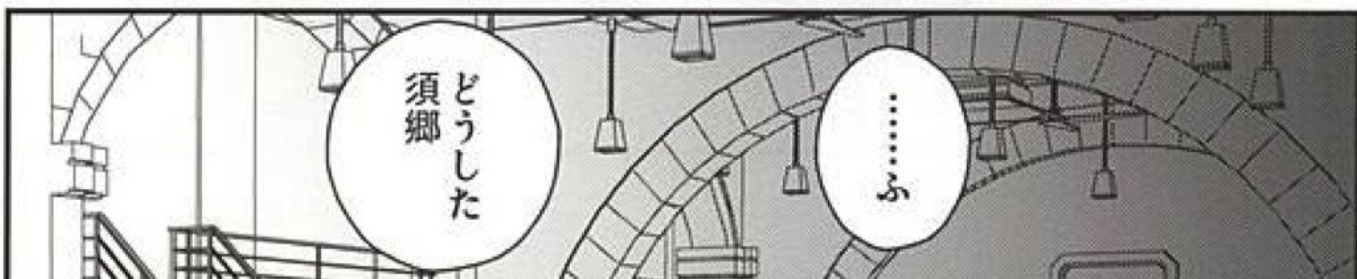


コウガミシヤ
『狡噛慎也』を

見ないでください

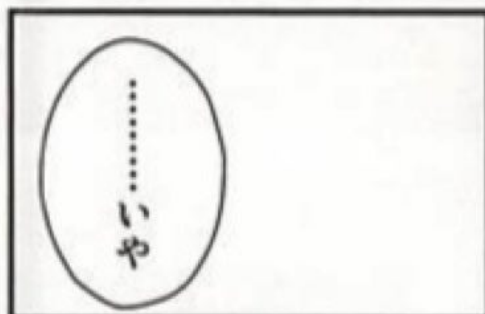


そんな権利 俺には 与えられていないのだ





『俺は、ギノの犬だからな』



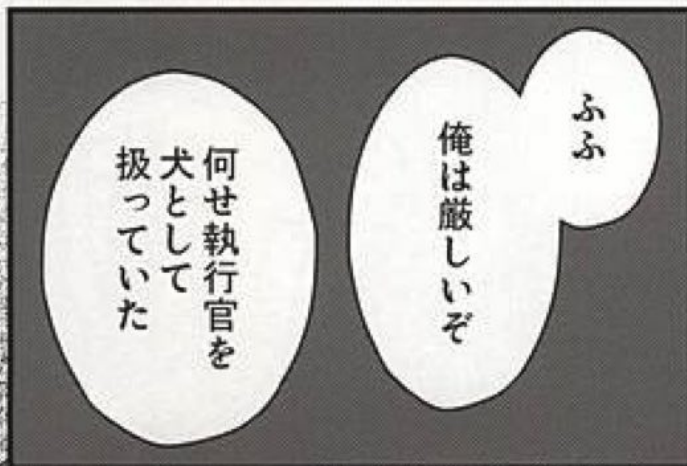


自分もあなたに
使役されたかった



俺が監視官だった頃に
お前が一係の
執行官でいてくれたら

随分と
楽だったろうと
思ってたな



ふふ

俺は厳しいぞ

何せ執行官を
犬として
扱っていた



ですがあなたは
犬を慈しむ

お優しいすぎる
方です

あ……

ぐゅ

ひゅ



俺にできるのは
この両の手を伸ばして
その目を耳を塞ぐことだけ――

私達も
SEAUnに
向かいます

#03

至急準備を



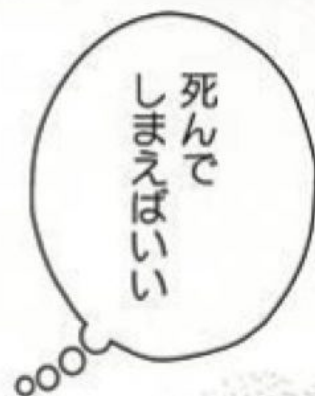




あなたのその震えは
常守監視官への心配、だけですか



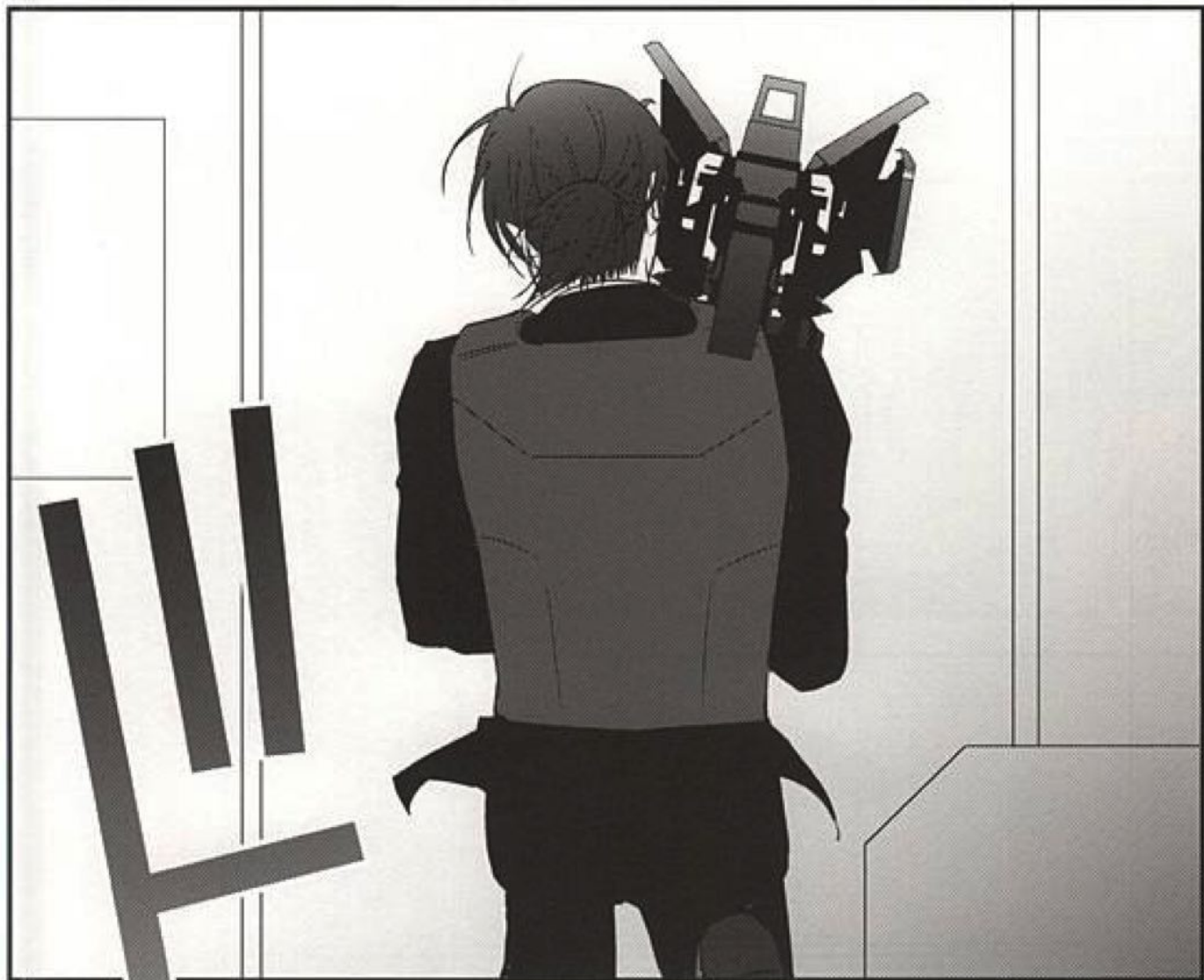
コウガミ シンヤ
狡嚙慎也が殺されているかもしれない
——その不安では ないですか



過去の亡霊
お前のせいだ



聴こえる
はずのない
彼の
息を呑む音を
聴いた





ああ

クリア

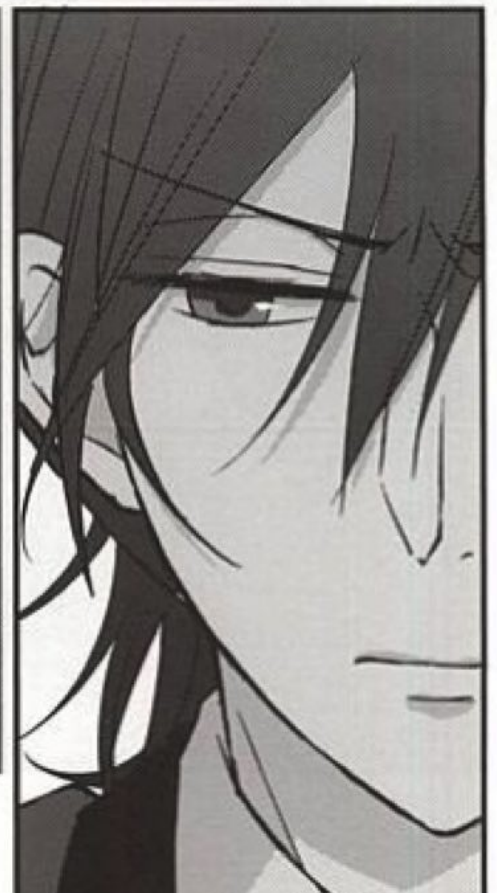
これより
常守監視官の
救出に移る



あなたの瞳に
亡霊が見える

霜月監視官は
六合塚さん、雛河君
須郷さんを連れ
引き続き
現場の指揮を

はい





私は
議長の身柄を
押さえます



宜野座さん
ついてきて



……
了解



宜野座執行官！

それは常守に
かける言葉だぞ



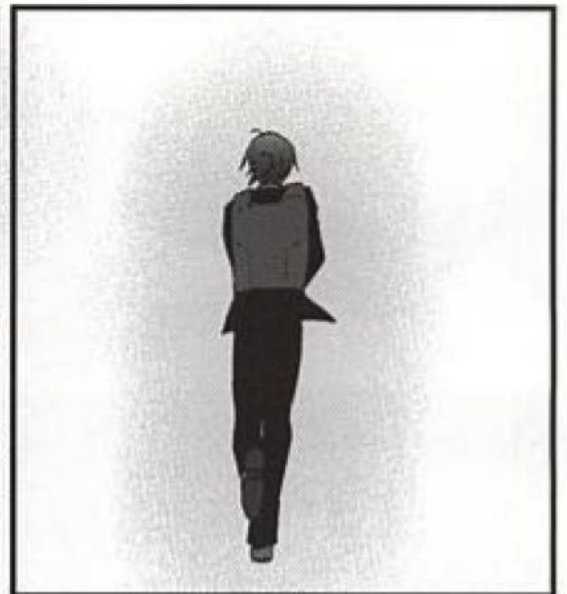
.....
お気をつけて



須郷執行官...?

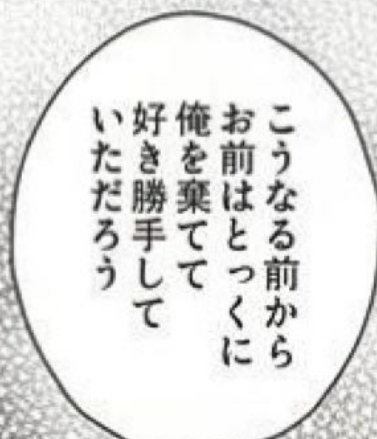
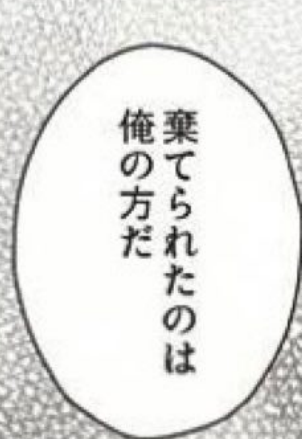
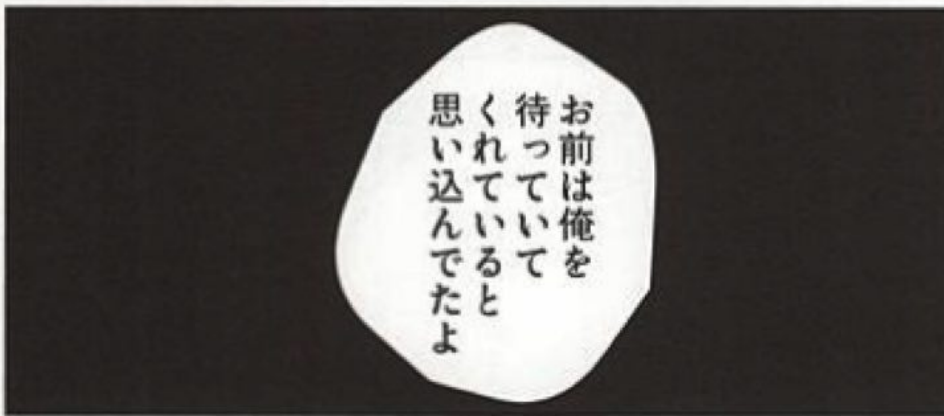


行ってしまおう 彼が
あの男の元へ



亡霊が 彼を連れ去ってしまう







俺はお前を
引き留めるだけの
存在には
なれなかった

それが
すべてだ

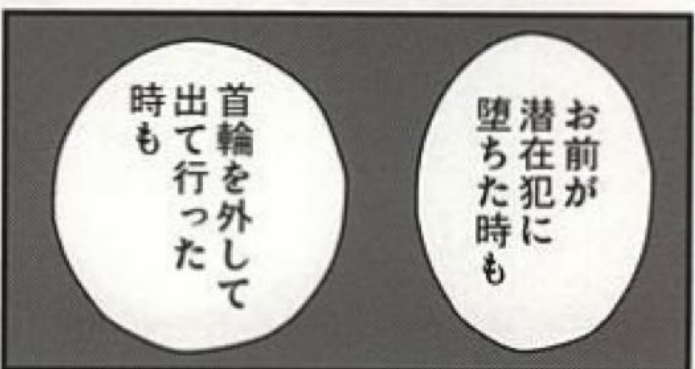


?!



違う
ない

それは
違う
だろ



お前が
潜在犯に
堕ちた時
も

首輪を外して
出て行っ
た時
も



もういいんだ
どうでも



ギノ……

違、

終わった事だ

ふる。



今は

俺の帰りを待つ
物好きがいる



お前だけだ

うるさい

昔も今も
ずっと

嘘だ







俺の

事なんて、っ

今の今まで
思い出しも
しなかった
くせに……ッ！



っあ！



あっ

散々考えたさ
置いてきた
ギノの事

何度も

ッい



あ

っ
ひあ

お前はずるい

卑怯だ



あっ

だ

うそ

何度だって







#05





何も聞きたくない！



言わないで
ください



……だが、

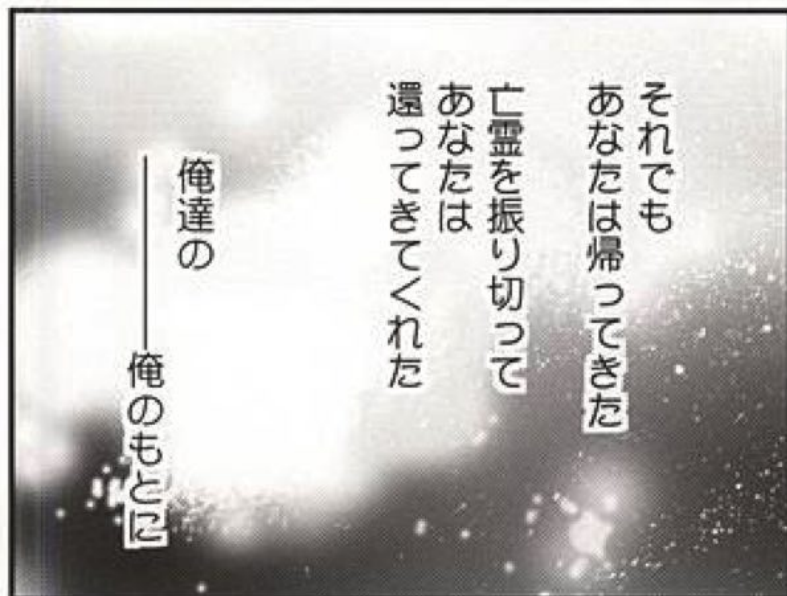




抱き締めた
彼からは



彼の
いつもの香水と
それに混じる
膚のおい
土と硝煙と
そして
見知らぬ男と
煙草の
においがした



それでも
あなたは帰ってきた
亡霊を振り切って
あなたは
還ってきてくれた

俺達の

俺のものだ



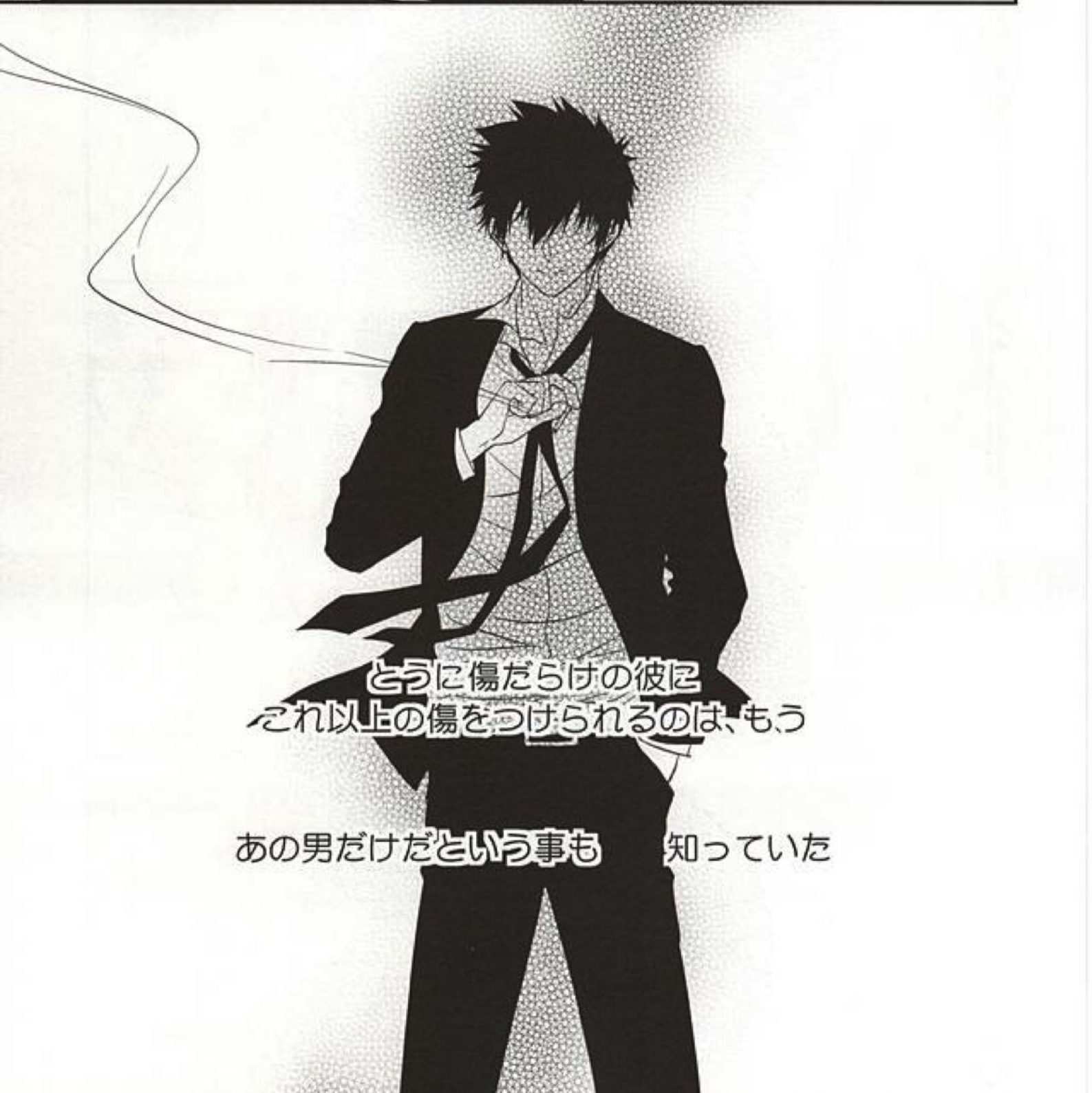
それでも



だが俺は、

あなたは
傷つきますか

それだけで
十分だった
と言えは



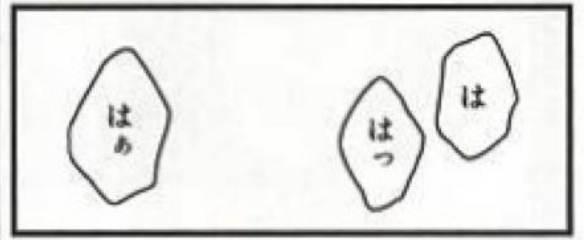
どうに傷だらけの彼に
これ以上の傷をつけられるのは、もう

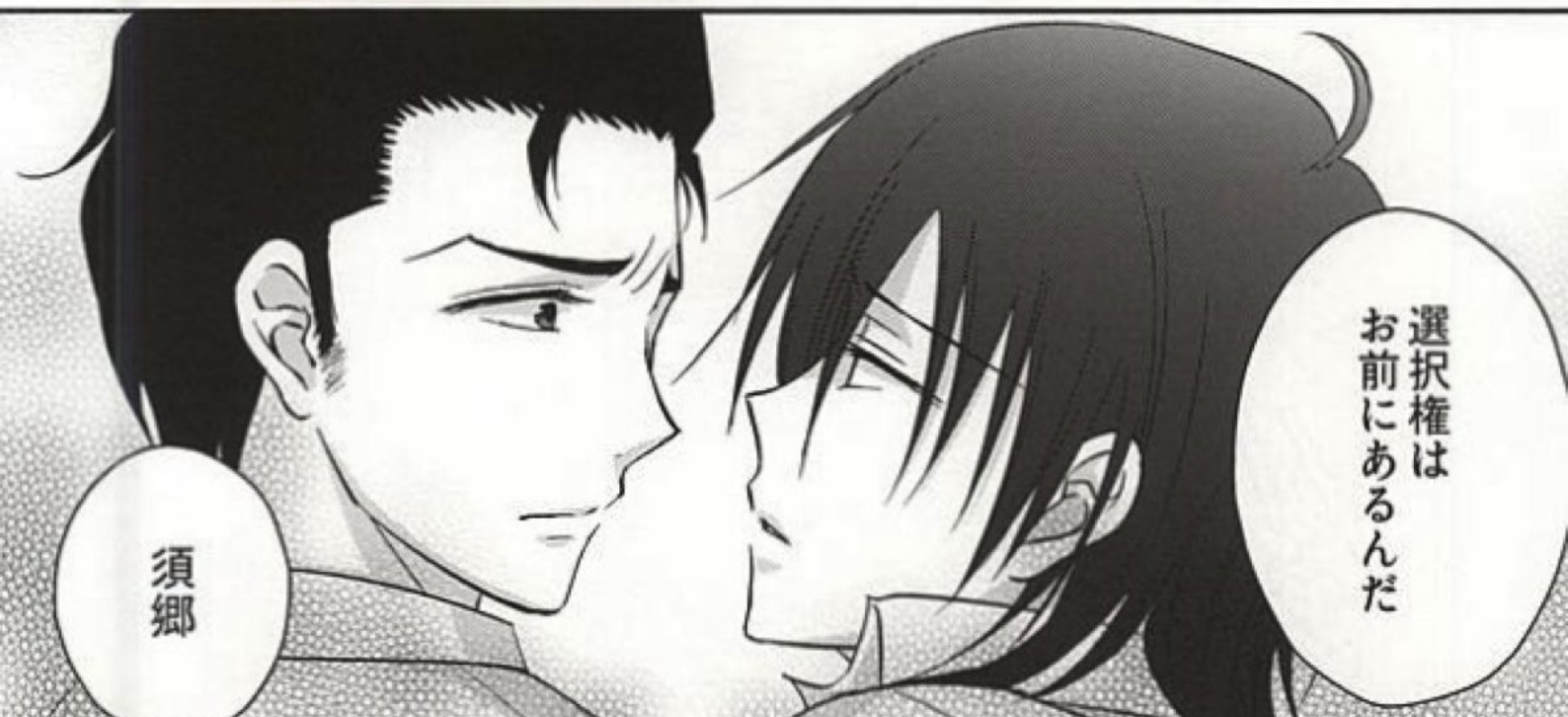
あの男だけだということも 知っていた











……そんなの
ずるいですよ

ずるいか

……ならもし

もし
一生隣に
居てくださいと
言ったら

居るよ

そばにいる





……ッあなたは

ちゅっ

嘘つきだ——



須郷



ちゅっ



なあ、
好きだよ

お前は
信じなくても

俺は
お前が好きだよ

須郷



#00

一番
じゃなくて
構いません



あなたにとって
自分は一番じゃ
なくていい

何番目でも
構いません

それでいいから
自分を……



あ

あなたの傍に

置いてください……



俺を置いて
行かないでくれ

.....
お前は
欲がないな

そっ

そんな事は
ありません

あなたを
欲した

—

そうだな

ひとつ
条件がある

その声には
僅かながら
水分があつた

.....はい
それは無論

このひとは
きつこ

約束
するか

はい



俺は
お前のものだ

なら、
いいよ

わ

そんな当たり前のことすら

誰にも守ってもらえなかったのだ



ぎっ

えっ?!

はわわわ

宜野座さ…ッ!?

思っていたより
ずっと初心だな
お前

一番じゃなくていい
何番目だって構わない

——確かにそれで始めたのに



一番であろう男が

コウガミシンヤ
『狡噛慎也』が

現れただけで

俺は、このさまだ。

独占欲の強い
男なんだな

また随分と

(#04_2)



花弁みたいに
散ってるぞ



…束縛された
覚えはないが



え？

キスマーク

俺への
牽制だろう



う
た.

気付かなかった
なんであいつ…
普段はこんな事
しないのに



俺を知った上で
ギノと
付き合ってるのか

面白い
奴だな



ちゅっ

んっ...!



俺を置いて
どこにも
行かないと




約束をくれた

何番目でも
構わないと
言っていた

へえ?

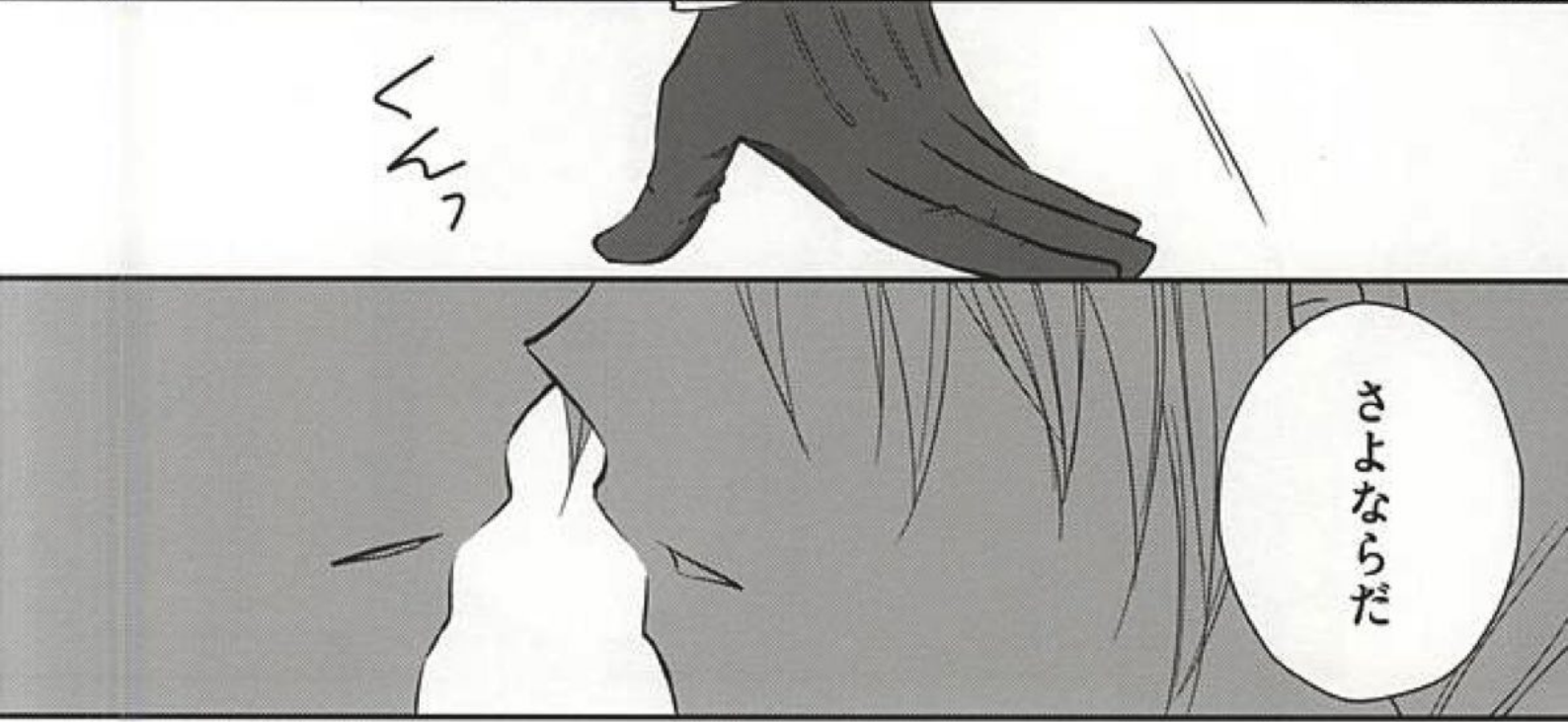
そして



だから俺も
離れない



くっ



さよならだ





愛していたよ
狡嚙

きつともう
二度と

お前以上に
誰かを想う事は
ないだろう





行けるわけがないだろう

お前が待っているのに



え……

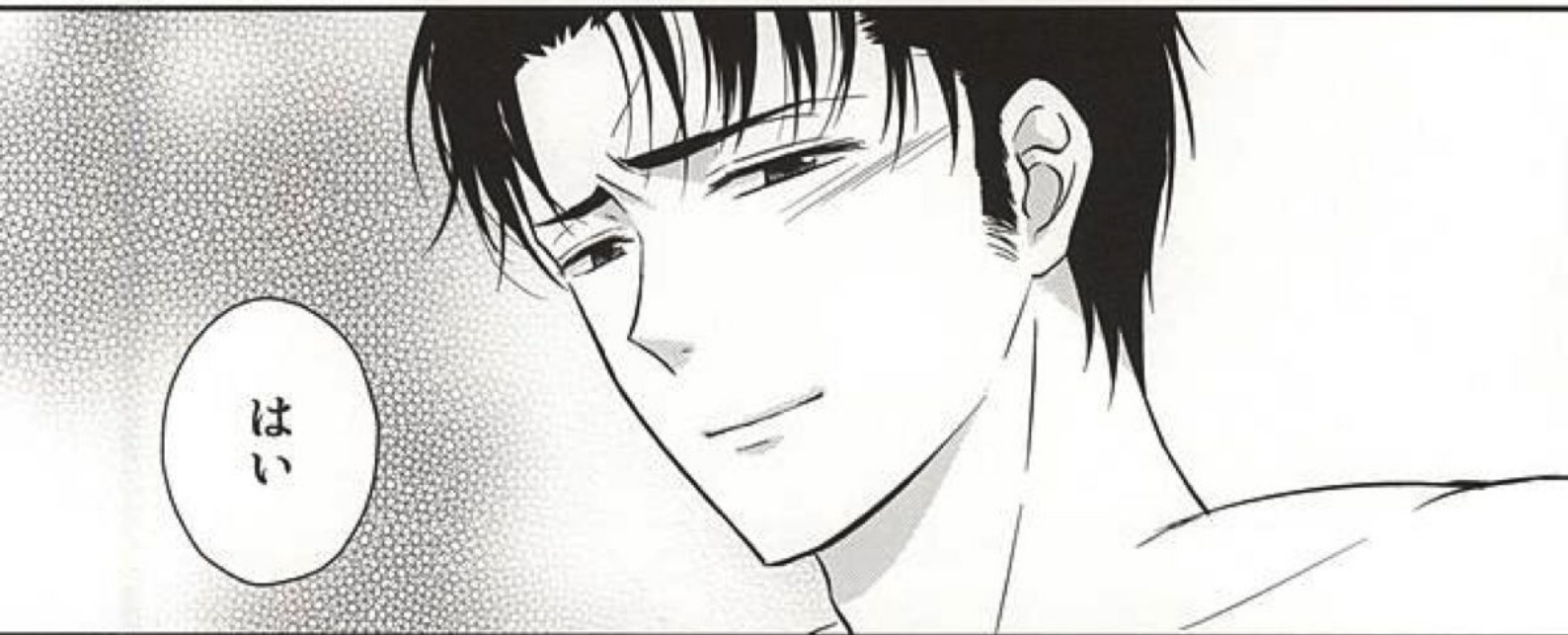
…自分ではなく
常守監視官を
慮ったのでは

困らせる事を
言うなよ

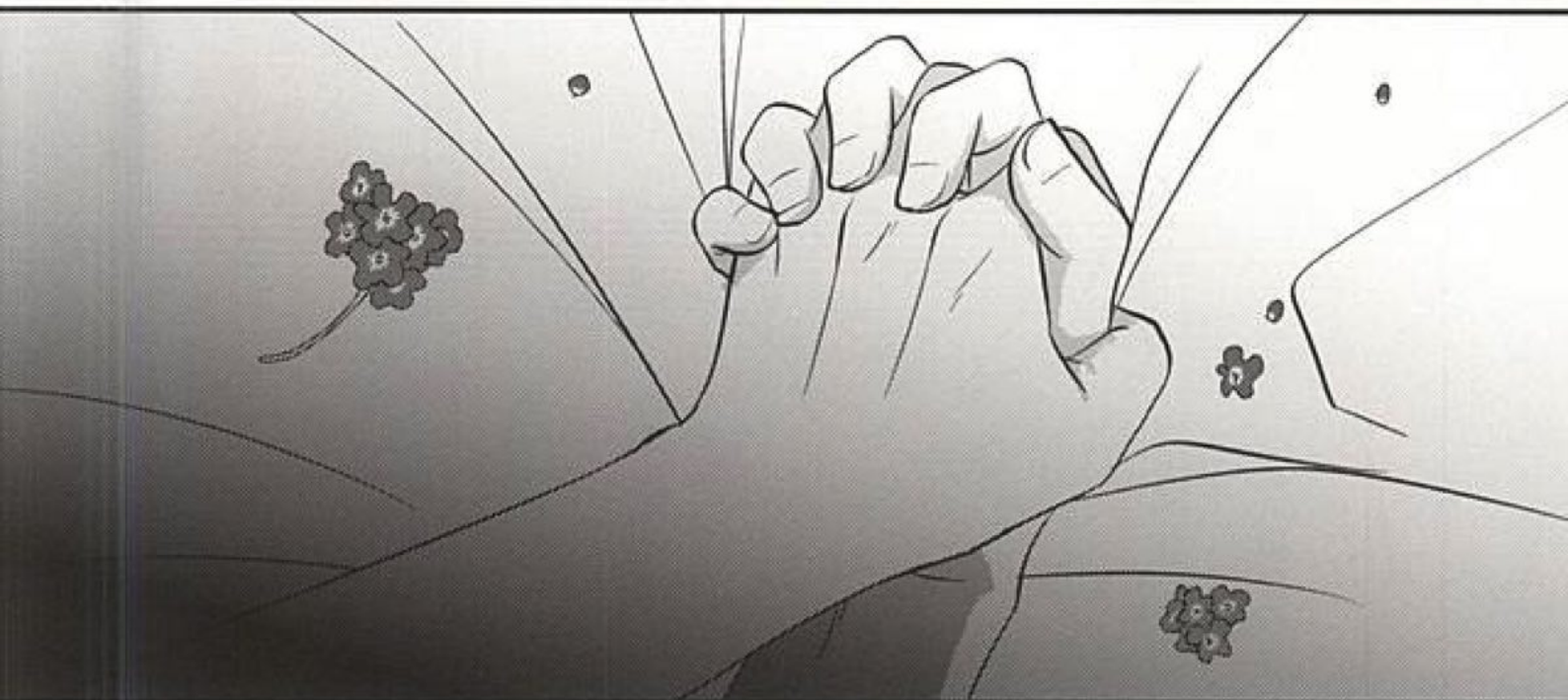


お前が
約束を守る限り

俺も
どこにも
行かない



それでも
あなたは
きっと



俺があなたを愛するように
あなたが俺を愛することは
決してないのだ

